

# 今秋、台湾国際漁業見本市

# 出展者募集

台湾唯一の国際漁業展「台湾国際漁業見本市」が11月9～11日、台湾の高雄展示センターで開催される。昨年の第1回に続く開催。今回は日本パビリオンなど日本産をアピールできるスペース設置も計画しており、現在、出展者を募集している。

見本市の主催は中華民国 産ハイオテクノロジー部門 対外貿易発展協会と貿易展を新設し、トータルで出展者250社・団体、ブース2310㎡、2520㎡と中国や香港などのアジアに数500を予定。来場者数に加え、シンガポールやインドネシアなど東南アジア諸国連合(ASEAN)地域、米国などからもバイヤーが集結するなど幅広いバイヤー層へのアクセスが期待で

料は7月末までの早期申し込みの場合、スペースのみが2100㎡、シエルスキーム(間仕切り壁やカーペット、社名パネル、商談用テーブル、照明など含む)が2310㎡。8月1日以降はそれぞれ2310㎡、2520㎡となる。

## 日本パビリオン設置を計画

みる。前回には215社・団体が出展。来場者は6527人

アに分けて、最新技術、製品サービスなどを提供す

airtag.jp  
▼見本市ウェブサイト  
www.taiwanfishery.com

に上った。今回は新たに水

ブース(9平方)

出展



水産業の川上、川中、川下分野を網羅する展示エリアを計画